

# いま、いき

8



人は、振り返らないと前に進めない

て、2時間も3時間も一方的に話し続けるという方がほとんどなのです。

商売で相談にのっている訳ではないので、あまり長話になつてしまうと私も困るのですが、ひとり住まいの高齢者が、嬉しそうにお話ししているのを聞いていると、なかなか受話器を置けないのが実情です。

何度も、「ごめんなさい、忙しいのでもう電話を切らないといけませんが」とお話ししても、ほとんどの方が「そうですね、お忙しいのにごめんなさいね」と言いながら、そこからまた話し出して、30分以上も止まらないのです。遂には自宅に来てほしいという話になり、結局断り切れずに「では、一度ご自宅に訪問しましょうか？」となってしまうのです。

こんな話をすると、愚痴を言っているように思われるかも知れませんが、訪問すると良いこともたくさんあります。

皆さんは、「振り返り」という言葉を、普段どれだけ意識していますか？  
私は常に意識するようにしていますが、最近少し視点の違った振り返りによって、勉強になることが多くなってきました。  
私はこの一年の間に、自分の死後、人様に迷惑を掛けたくないというお気持ちから相談に乗ってほしいとおっしゃる、約20名の70歳から90歳前後のひとり住まいの方の御自宅を訪問する機会がありました。

皆さんも想像がつくと思いますが、普段会話のないひとり住まいの生活を続けていると、久しぶりに人と会話することが大変嬉しいのです。そこで、あれもこれも聞いてもらいたくなつ

時代とともに変わってきた日本や、町の様子などを教えてもらえることになるのです。特に私は戦争を知らない年代ですので、そんな話をお聞きしているととても勉強になります。

このように過去の話を聞きすることで、現代の様々な問題の原因が分かってくるのです。今起こっている様々な問題を解決するためには、過去の事実を知ることが重要になってくるのです。

全く過去を振り返らず、自分の希望やイメージだけで前ばかり向いていると、常に希望に満ち溢れていて立派なようにも見えるかも知れません。しかし、実際には経験に基づかない行き当たりばつたりの行動になりがちで、同じような失敗を繰り返すことが多くなり、結局、目的に辿り着くことなく、折角希望したにもかかわらず、永遠にただの夢に終わってしまう人も多いのです。

人間は過去の経験を元に、同じ失敗を起こさないように、絶えず修正を行いながら成長することができると特権を持っている生き物だと思っています。その時には全く気付かなかつたことも、ちよつと立ち止まって振り返ることによって、気付くことがあります。

私の経験ですが、このような習慣が身についている人と、一年ぶりにお会いすると、とても成長されていて驚かされることがよくあります。  
振り返りが大きければ大きいほど、大きな一歩を踏み出せる可能性が高まるので、振り返りは、人間にとってはとても大切なことなのです。

皆さんも、振り返ることに、日々、もつと意識されてはいかがでしょうか。

## よしだ たいち 吉田太一

1964年大阪市生まれ。調理師、引越運送業を経て、2002年、遺品整理のサポートの必要性を感じ、日本初の「遺品整理専門会社キーパーズ」設立。著書は「遺品整理屋は見た!」「遺品整理屋は見た!! 天国へのお引越しのお手伝い」「孤立死 あなたは大丈夫ですか?」(いずれも扶桑社)など多数。